

①解決したい課題

【橋梁維持管理における高岡市の課題】

①橋梁維持管理コストの削減について

・5年に1度の定期点検費用が固定費となり、限られた予算の中では、修繕が必要な橋梁への措置が先送りとなっている状況である。

②点検結果のばらつきについて

・これまでの実施してきた点検では、点検結果の判定のばらつきが多いことから、地元企業（コンサルタント）でも一律の判定ができるような仕組みが必要である。

③橋梁の維持管理体制について

・技術職員が不足しており、適切な維持管理体制を築くことが難しくなっている。
・短期的な異動も多く、ノウハウをもっている職員も少ないことから、技術的な伝承が困難である。

【目指すところ】

1. 橋梁維持管理コストの適正化
2. 定期点検精度の向上
3. 業務効率化・適切な維持管理体制の構築



橋梁長寿命化の促進や維持管理レベルの向上

②課題解決の方向性のイメージ

①橋梁維持管理コストの削減について

・点検の合理化を進め、コスト削減を図りたい。
・効果的、効率的な修繕を行い、コスト削減を図りたい。

②定期点検精度の向上

・技術力のある企業だけではなく、地元企業の誰もが同様の判定ができるようなスキームを導入したい。
・あわせて、地域雇用の維持・向上（持続的な担い手の確保）も図りたい。

③橋梁の維持管理体制について

・事務的負担の低減を図るための維持管理体制を構築したい。
・維持管理に関する情報を蓄積して分析することにより、維持管理の更なる効率化（新技術の適用も含め）を図りたい。
・橋梁維持管理のサービス水準の向上を図るスキームを検討したい。

高岡市独自の



橋梁定期点検ガイドラインを策定
橋梁補修設計ガイドラインを策定

③その他

- 高岡市、横浜国立大学、新日本コンサルタントの3者で「橋梁維持管理の合理化に関する研究協力協定」を令和5年1月16日に締結し、点検の合理化等に関する共同研究を実施している。